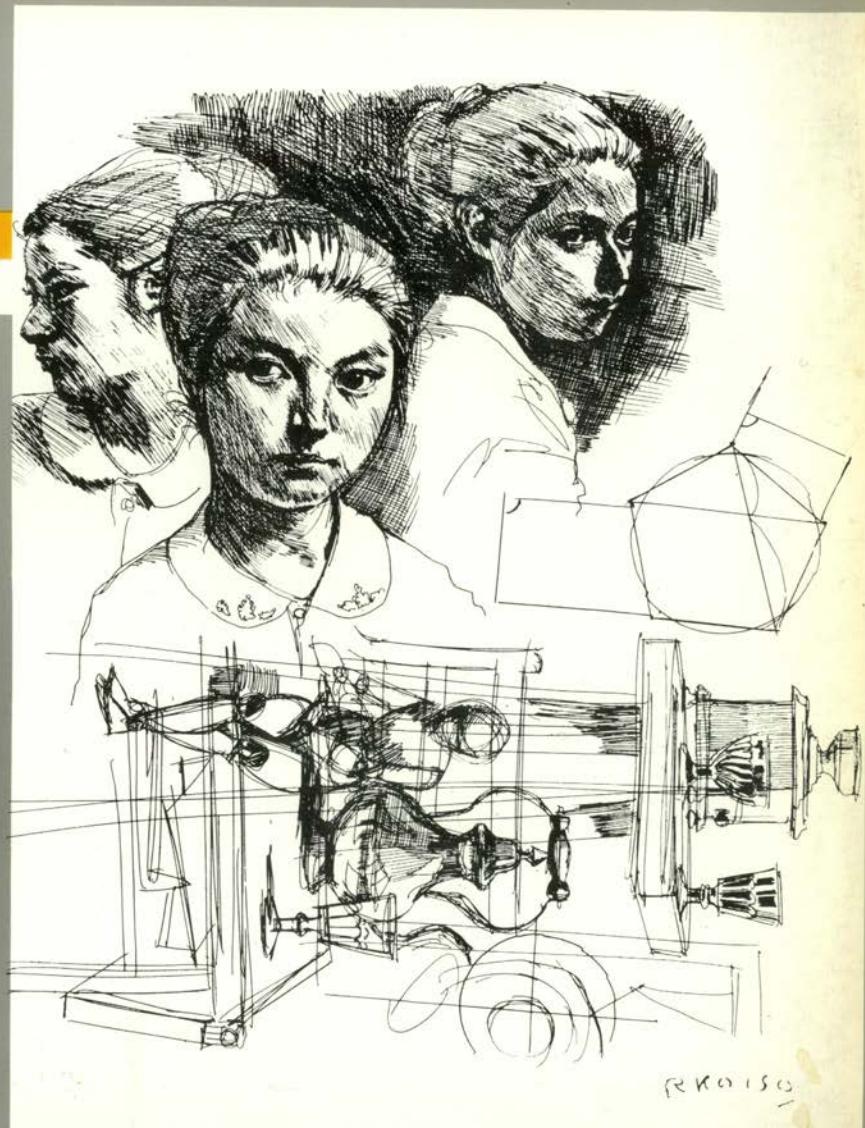


神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和45年11月1日印刷 通巻115号 昭和45年11月1日発行 毎月1回
★ 郷土を愛する人々の雑誌

神戸っ子

11
MAGAZINE
KOBEKKO
NOVEMBER
1970 NO.115



BALMY AUTUMN

『さわやかな秋』



Beniya young pocket
KOBE - OSAKA - TOKYO

冷たい風が霧のなかから
ヒューと吹いてきて
私の長い髪も帽子も
ニットのすそまでも
ゆらしていきました。



婦人服飾
神戸

ペニヤ

- ★神戸 三宮センター街
- ★神戸 三宮ニチイ2F
- ★神戸 さんちかレディースタウン
- ★大阪 上本町近鉄百貨店3F
- ★大阪 梅田阪急三番街
- ★東京 日本橋東急百貨店3F



PB 1024 ¥ 10,000

PB 680 ¥ 9,000

PE 547 ¥ 13,000

PR 67 ¥ 36,000

世界の宝石店

MIKIMOTO

落ちつきのある光沢

ミキモトパール

可憐な真珠の一粒一粒が
あなたの胸元や指先に
幸福をはこびます。

御木本真珠店

本店=東京—銀座 4 丁目 TEL. 535—4611

神戸=三ノ宮—神戸国際会館

TEL. 22—0062

大阪=堂島—新大ビル

TEL. 341—0247

高島屋・阪神・阪急・松坂屋

京都=河原町御池上ル(京都ホテル北端)

TEL. 241—2970

京都ホテル・京都国際ホテル・都ホテル

- ミキモトでは通信販売を致しております。
カタログのご請求お問い合わせは
東京都中央区銀座 4-5-5
御木本真珠店メールオーダー係へ
■ 104

© 1970

私は外へ出てみた〈5〉 —メキシコ万歳



えと文 中西 勝

万歳！「メキシコ」 口バに腰かけて
蕃刀しつかとセニヨール 黒い立派な口ヒゲ
暑い陽のカラカラの大地を走る。

●神戸つ子'70

笹田

泉

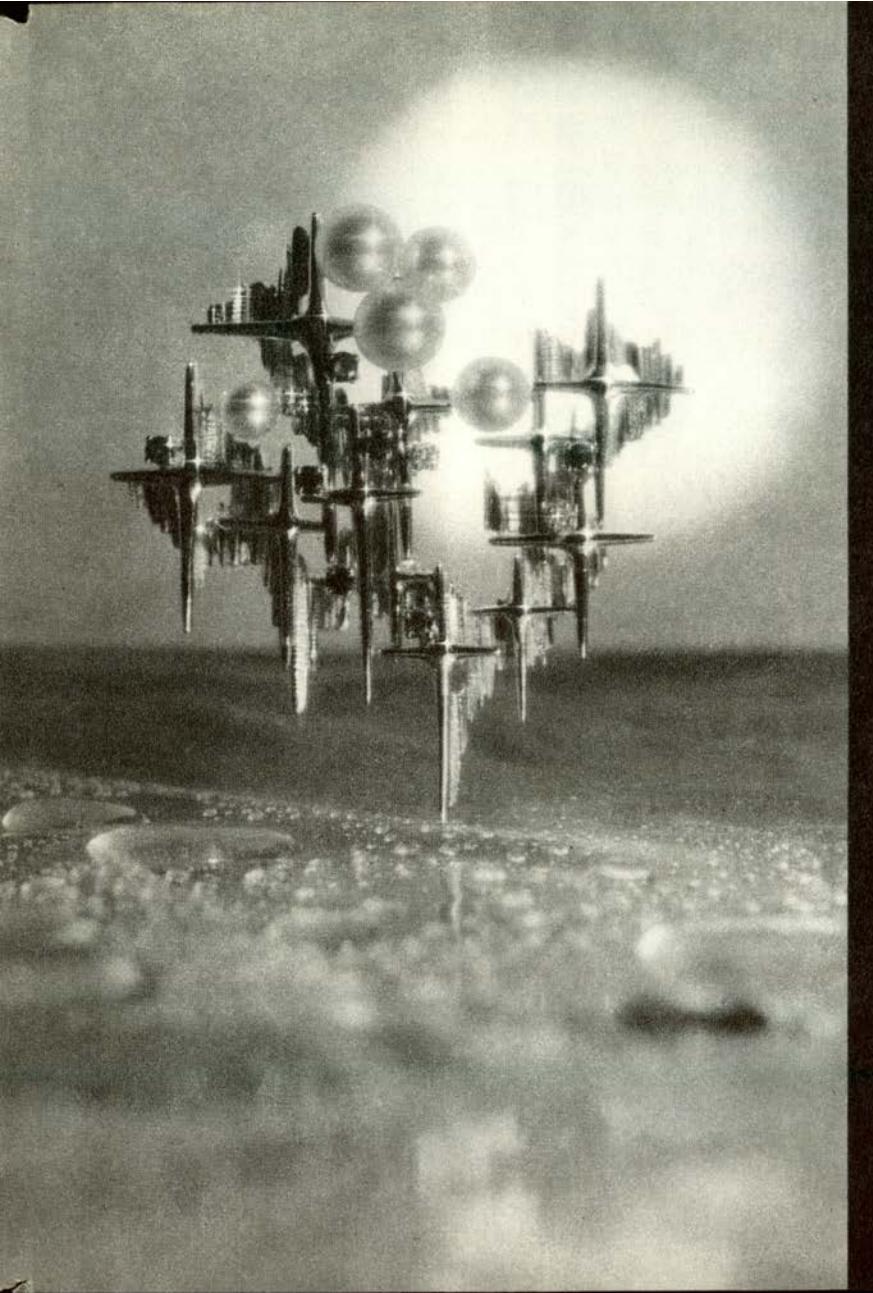
(11PMホステス)

カメラ・米田定蔵

「親子ですネン」とホストの藤本義一さんに、大阪読売TV「11PM」の新ホステス“いづみちゃん”を紹介された 笹田泉さん(23)は、神戸女学院大を卒業してすぐに、万博電気通信館のショーコの司会と通訳をひきうけ、大役が終つたとたん、市川靖子の後をひきついだラッキーな女性。「先週の火曜日が初めてだったのですが、藤本さんについて行くのがせいいっぱい。ホステス役が決つてから、はじめてこの番組を見たんです。」と飾りつ氣のない言葉。

音楽担当の小曾根実さんが、「ぱつと出でてきたつくしんぽうみたいや」と。さて、フレッシュなつくしんぽうムードが深夜番組の11PMでどうのびるか楽しみだ。芦屋市在住。(写真はスタジオで)





秋
月のしづく
花嫁の幸
タサキパール

TASAKI PEARLS

田崎真珠

本社・神戸市垂合区旗塙通6-9
三宮店・神戸新聞会館サニータウン
さんプラザ店・さんプラザ 3F 西角
パールファーム・神戸市灘区六甲台町24
(六甲台工場 ショールーム)

プラザ店・大阪ホテルプラザ内
パールキャラリー・東京都港区赤坂1-7-3-17
銀座店・東京都中央区銀座6-7-7-19
ヒルトン店・東京ヒルトンホテル内
オータニ店・ホテル・ニューオータニ内
札幌店・札幌パークホテル内

あなたの真珠はパール・マークのお店で
日本真珠小売店協会加盟店



神戸つ子'70

井上治郎

（日本山岳会エベレスト登山隊）

カメラ・米田定蔵

濁り酒が喉をカツと通る。冬のエベレストの嶺は、今
日も吹雪。観測テントのきしみの中で、独り計器を見る。
井上治郎。日本山岳会エベレスト登山隊の第二次偵察
隊として、昨年八月から、エベレスト四千米の高地で越
冬し、気象観測に一年を費やした。

「エベレストの気象は、日本の気象に大きな影響を与え
ているのに、データ不足なんですね」と気象のデータ収
集への情熱は、独りテントを張る淋しさをふつきつてヒ
マラヤで三年間、気象観測をする計画をたてている、と
ことくなげに言う。エベレストは実に楽しい、と言う。
山に登りたいがために、六甲高校から京都大学で気象
学を専攻し、一昨年、京大のバタゴニア探險に参加、経
験を豊かにした。現在、京大大学院修士二年。二十五才。
（写真左・王子の登山研修所にて右・エベレスト・ウェスタンクームにて）



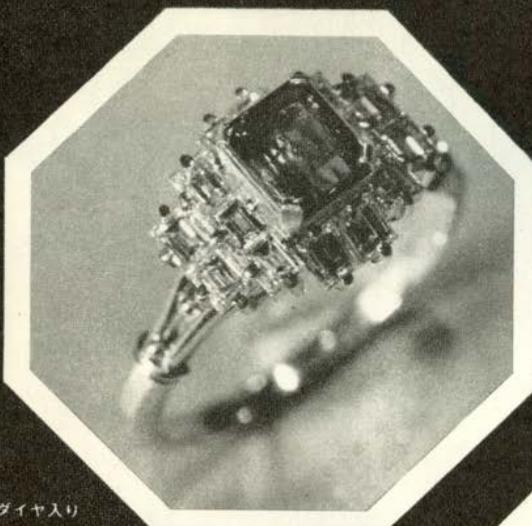
宝飾店
Tajima
タジマ

元町2・TEL 33-5761代表

タジマでは、宝石の鑑定を無料でご相談に
応じておりますので、お気軽にご利用ください

確信をもってタジマの眼が選んだ宝石の名品

白金台ダイヤ入り
エメラルド



ダイヤ入り白金台エメラルド



ひんやりと秋の雨が降る日曜日。磯上グラウンドでは雨をついて若者たちが走る。冬に向かってラグビーシーズンの開幕昨年十一月結成されたラグビーチーム「六甲クラブ」は、甲南大学を始めとする、高校・大学のO・B、会社員、デザイナー、自家営業、学生などによつて構成されいる数少い混成クラブチームである。

アタックしアタックされ、ひたすらボールを追つて走り続ける。グラウンドの芝と泥と汗まみれそれがまた楽しくて仕方がないかのように、白いユニフォームがみるみる茶色く染まっていく。体と体の力強いぶつかりあり、男だけの知つている爽快さが拡がる。

各々の忙しい仕事の合間をぬつていつもラグビーで明け暮れる休日。来年は国体予選優勝をめざして一層の飛躍を誓つている。(十八ページ参照)

★泥まみれの雄姿は右上から
日下雄一郎、中島光正、山内一成、土田浩或、遠山良彦、
更井良宏、福部昭、伊達陽二、北田力彦、英信安河内茂、
右下から谷岡尚武、安斉博、
渋谷聰、荒崎直樹、福繼文



KANEKO
Pearls Salon
衣裳 ルシアン 野村

かねこ
ルシアン

未来の
ファッショն

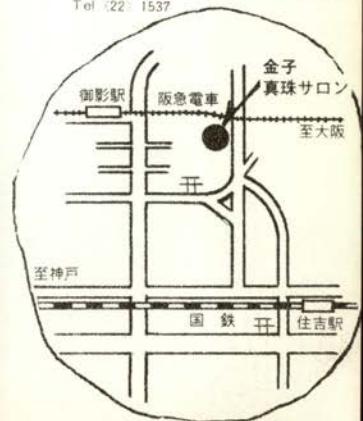
コーカシア人種（白人）の
美を理想とする考え方が
茶、赤、黄の肌が、美しい
という基準にとって
代わられるだろう。
肌の白い女性は肌に色をつけ
そのため特別な化粧品が
必要になるだろう。

(A・ゴールド)

おしゃれをリードする……

金子眞珠

神戸 神戸市東灘区住吉町堂ノ本 1824
Tel (078) 2881-3
東京 東京都中央区銀座7丁目8-5 金城ビル
Tel (03) 573-1775
長崎 長崎市大黒町14-5 長崎ビル
Tel (032) 1537





さんちかニューファッションショー



スターサイン会(写真中央、左より佳川ヨコ、青江三奈、田村ひろみさん)

●コウベスナップ



噴水除幕式



より一層明るく、美しくなったファンシータウン



ファッションを創る女性の街レディースタウン



中央コンコースにある可愛いい泉



森と泉と太陽のプロムナード

Santica Town

開店5周年を記念して大改造した神戸・三宮地下街さんちかタウンが、10月25日「さんちかオープニングフェア」で店開きました。

自然のムード“森と泉と太陽のプロムナード”といつそう美しく、明るく生まれ変わった各タウン、女店員の服装も紫の制服に統一し、新しいさんちかタウンは、さよならのいえない街という唄も生れました。

毛皮のやさしい肌ざわりがなつかしい
冬がもうそこまで来て います。

新装なつたさんちかタウン・ムラタで、
冬のエレガンスをご準備ください。

真珠・毛皮と舶来服飾



さんちか*レディスタウン

TEL (078) 39-3886

村田真珠株式会社

有限会社 村田

神戸市生田区元町通6-35

明邦ビル2F

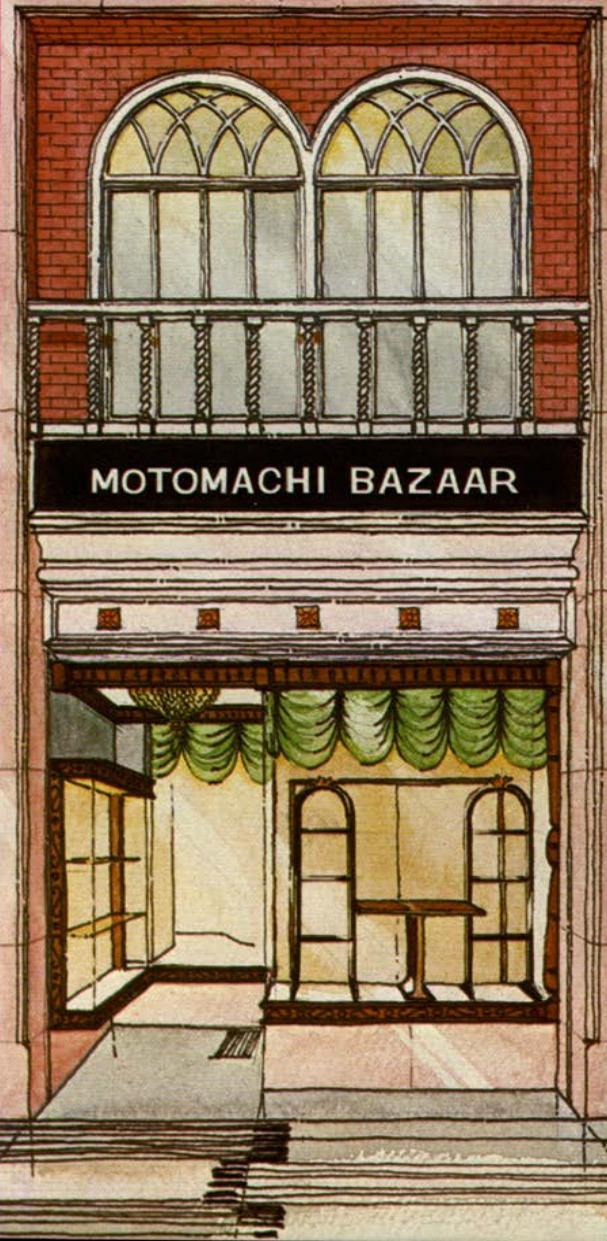
TEL (078) 34-8041

モデル・岡田由利 K・F・G エドワーズ・クラブにて

ネクタイの
元町バザー

神戸・元町1丁目
TEL (33) 1401
★仮営業所は山側向い

東京  東急百貨店
渋谷本店／日本橋店



12月3日に
新しく装って
おめみえします



世界のオシャレをおとどけする

ウネ

神戸店 神戸市生田区元町通1丁目64 TEL. (078) 33-3112
東京店 東京都中央区日本橋通1ノ9ノ2 東急百貨店日本橋3階 TEL. (03) 211-0511内線631
東京店 東京都渋谷区道玄坂2-24-1 東急百貨店本店4階(渋谷) TEL. (03) 462-3435 (直通)

- 表紙／小磯良平
2 Second Cover／中西 勝
5 神戸っ子'70／カメラ・米田定蔵
①笛田 泉 ②井上治郎
7 ある集い／六甲俱楽部
9 コウベスナップ／さんちかタウン
13 わたしの意見／直木太一郎
15 隨想三題／「万博謡で、神戸謡で」玉井 孝
「のじぎくの塔と風車」藤本ハルミ／「成駒屋勝っちゃんの思い出」西脇親
18 ある集いその足あと／六甲俱楽部／日下雄一郎
21 れんさい隨想 18 芦屋哀愁／林田重五郎
24 隨想／本山近辺／小島輝正
26 隨想／幼いころの思い出／中山尚子
29 特集(御影・本山・芦屋)1
対談 渡辺万太郎 芦屋市長一吉廉 治良
35 経済ポケットジャーナル
36 神戸のアーバンライフ／水谷頼介+チームUR
37 神戸のモダーニリビング／高月昭子
38 技術ジャーナル／諸岡博熙
42 特集(御影・本山・芦屋)2／街のおしゃべり①
六甲・御影・本山ブレイゾーン
49 丸本耕個展より
50 神戸遊戯誌85／アクアラーニング②／青木重雄
52 動物園飼育日記54／龜井一成
56 シリーズコミックス／岡田淳
68 特集(御影・本山・芦屋)3／グラビア特集
73 詩のあるアングル／御影・和田悟朗・織方しげを
84 特集(御影・本山・芦屋)4／座談会／阪神間は混合文化の街
坂本智元・村上次男・中西 勝・水谷頼介
93 特集(御影・本山・芦屋)5／街のおしゃべり②／芦屋・夙川ブレイゾーン
98 もとまちフローラジャーナル
102 CINEMA (54) 淀川長治
104 恋愛入門9／月見草／H.ジュニア・え／納健
106 ショットショット(12)文／向井修二・え／石田律子
108 ビットイン
111 神戸百店会だより
112 ポケットジャーナル・花時計
116 連載小説／第6回「キリストンの墓」小山牧子／え・石阪春生
124 連載小説／第8回「曲線ハイウェイ」武田繁太郎／え・横塚繁
133 海・船・港21 さらば老兵団南丸／団南丸を訪ねて
134 カメラ散策／林崎海岸・織方しげを

カメラ・米田定蔵／カット・岡田 淳



ねエ! 今年のコートは?

ツィードのロンゲットコート それとも生成のコットンコート
スポーティなの それともドレッシーなもの
あなたのコートはあなたのセンスで決めなくちゃ

● 3 F / コート売場に200デザイン以上のコートを取り揃えました

東京・銀座
San-ai 三愛

三宮店 センターハークビル 2・3F

★わたしの意見

公害と

ロータリー

直木太一郎

〔国際ロータリー・元ガバナー〕



★人間と環境のギャップ、それが「公害」です
公害問題は周知の通り、世上を賑わしていますが、これは世界的な傾向でもあって、この夏、アメリカにおきまして、国際ロータリー元会長の東崎氏と、現会長のウオーク氏が、公害について対談を行ない、全米へテレビで放映された。これは、国際ロータリーの今年度の掲げるテーマの一つが、「公害」であることを明示したわけだ。

その対談では、一九六〇年代は、経済成長にともなう社会のひずみが、世界的な規模にまで、人と人との間のギャップ、諸国間のギャップ、人間の環境のギャップの三つを生みだした時代だという。そして、「人間と環境のギャップ」が「公害」なのです。

一九七〇年代の課題は、この三つのギャップに「橋をかける」ことなのです。

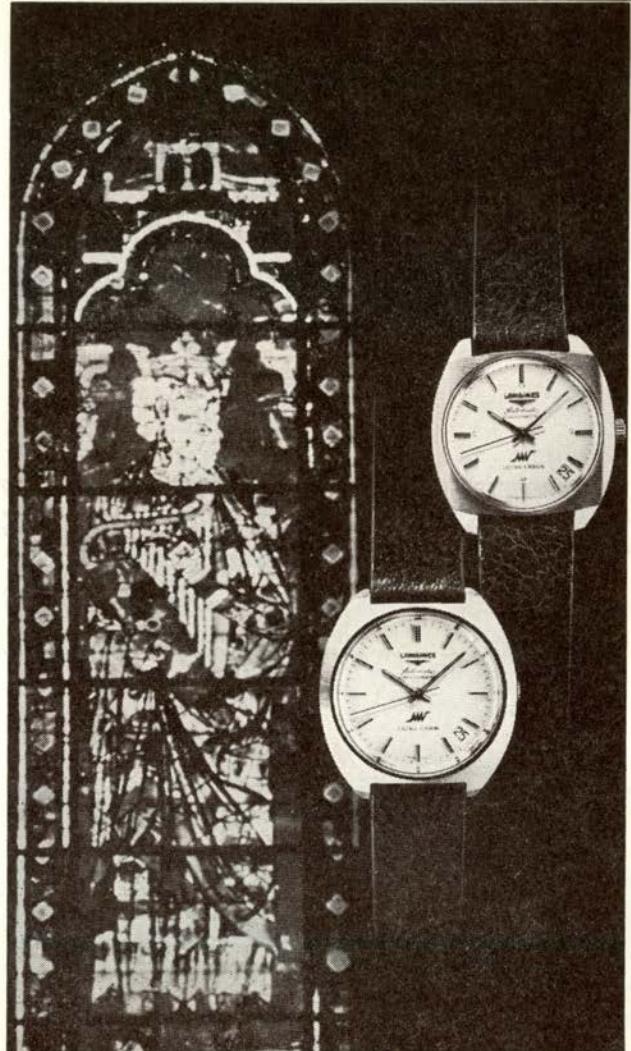
★公害にたち向かうロータリーを、監視してもらいたい
日本の公害の特徴は、それもヘドロ、カドミウム、多量の亜硫酸ガスなど、これは「公害」でなく、原因も、責任所在もはつきりしている「私害」であるところに問題があるのです。

幸い、ロータリー会員というのは、日本では指導的立場にいるものが多く、それだけ、各人が公害、私害の除去にとり組んで、自分の企業、業界に働きかけたら、少なくとも、「私害」に関するものだけは、解決の方向に向かうのではないでしょうか。

特に最近問題になっている大企業の「私害」は、経営者のモラルの低下と見られることも多く、その経営者がロータリアンであるだけに、ロータリーの存在価値が疑われても仕方ありません。

今年は、ロータリーが日本に渡って五十年目。その記念事業として出した「ロータリアン読本」に書いてある、ロータリアン創始の精神に戻って、ロータリーが本気で公害に取り組むのだという姿勢と実践を、一般の人を監視してもらいたいものです。

選ばれた人に選ばれるスイスの傑作ローラン



ヨーロッパ調のオーソドックスな風格を
秘めたクロノメーター。高振動腕
時計の最高峰ウルトラクロンをより
にかけ選びぬいた逸品中の逸品です。
金側、ステンレス側…デザインも
豊富にそろっております。ぜひいちど
ご来店いただき、お手にとっておた
しかめください。



LONGINES

特約店

美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL33-1798
三宮店・さんちかファンシー・タウン TEL33-8798

隨想三題



J.NAKAJIMA

カット・中島節子

万博詣で 神戸詣で

玉井 孝

（朝日放送アナウンサー）



島津貴子さんと筆者

ンだったのです。

まず、島津貴子さん。美の共鳴度の高い方。仕事の合い間に万博を楽しむ、それも小国専門。「アルジエリア館素敵ですよ」いわれて行つてみると成程成程。ここは、某局がレストランのダンサーのへそばかり放送して以来テレビ嫌いとなり、人の口には上りませんでしたが、神経の行き届いた展示でした。「インド館で、いただきましたの、食べ過ぎた時にどうぞ」ホロホロとした糀ようのものを数粒口に含むと成程成程。さては小生の食べっぷりを見ておられたか。ユーモアあつて非常に気の

テレビ「これが万国博だ」の仕事で疲れると、神戸へ走りました。ゲストがまた揃つて神戸ファ

ンだつたのです。
まず、島津貴子さん。美の共鳴度の高い方。仕事の合い間に万博を楽しむ、それも小国専門。「アルジエリア館素敵ですよ」いわれて行つてみると成程成程。ここは、某局がレストランのダンサーのへそばかり放送して以来テレビ嫌いとなり、人の口には上りませんでしたが、神経の行き届いた展示でした。「インド館で、いただきましたの、食べ過ぎた時にどうぞ」ホロホロとした糀ようのものを数粒口に含むと成程成程。さては小生の食べっぷりを見ておられたか。ユーモアあつて非常に気の

つく方、そして何よりも根性のある方。リハーサルで何時間立ちん坊しても、着物崩さず微笑絶やさず。空前のマヒで車が立ち往生し

た。もう一人、石錦徳さん。韓國館ホステス、もちろん美人。黒髪素直にお化粧ほんのり、アクセサリーはあるかなしか。日本の国から

た時など、中国自動車道の真中で降りるや会場まで一キロを走り、本番直前にゴールイン。つきそいの大男は瀕死の形相でたどりつても、島津さんはケロリ。スタッフはただただ恐れ入り「あれが帝女学というものが」成程成程

次に、真理ヨシコさん。私とともに番組の司会をしてくださったので、会期の半分は東京の住まいを空っぽにして会場通り。人疲れと、仕事の疲れと、情のない乾いた世界での疲れで大きな目はいつも真赤。昔屋のアソコでケーキを

食べて、元町のアソコでステーキ食べて、三宮のアソコでグラスを傾けて、それが楽しみで頑張つた方。九月十三日、真理さんはやはり目を真赤にして、人影の減つてゆく会場をあてもなく歩きました。食事を抜いて、その分のお金で日本の土産を買って帰った踊り子もいたつけ。華麗な万国博の楽屋裏で知り合つた人達との別れは人一倍淋しかつたに違いない。夕映えの中で観客の一人が真理さんに話しかけました。「どこの国の方ですか」一八三日間の万博焼けで真理さんの顔は異国の人のようにうつりました。

絶滅しつつあるタイプの佳人です。日本の焼き物と会うのが樂し

みで、会つたら洗練され過ぎて失望し、韓国のは無骨でも素朴な土の匂いがするから好きですとおっしゃった。余談ですが、アジアのパリオニにはこの絶滅型の佳人が多く、これから嫁さんは他国に求めた方がよいようです。

佳人が多く、これから嫁さんは他国に求めた方がよいようです。お別れの日、神戸でお肉をこち走したら、ペロリと平らげてククッ笑うのです。「私は肉が大嫌いでお魚ばかり食べてました。ところがあんまりおいしいので、気がついたらみんな食べてしまってました。それで笑ったのです」

会期中、神戸は、私達にとって傷を癒す街でした。それにしても、万国博との別れの辛さは、やはり人間との別れの辛さです。

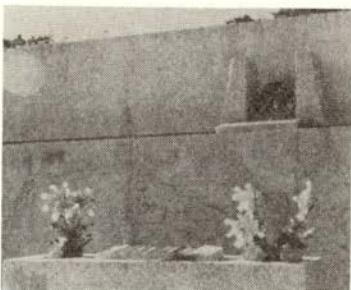
星空に星となりゆく
飛機を追う
のじぎくの塔と
風車

のじぎくの塔と

藤本ハルミ

（ファッショントレーナー）

クルクルクルクル風車は無心に



のじぎくの塔と風車

いるとかで、何となく明るく、それでいて人の心をシンとさせるような奇妙な雰囲気を持っていた。それでお国ぶりを見るように、富山の碑は高く聳え立つ立山を表現し、なにわの碑はいかにも大阪らしく黒い石にいろいろな歌を彫りこみ、何となくぎやかな感を持ち、こちらにすればまるで草深い田舎のように思っている県が、超モダンでびっくりしたりした。

白く大きいのじぎくの塔に対しほんの豆つぶほどの風車なのに、地下の英靈をなぐさめようとも同じように、クルクル、クルクルと今にも倒れそうになりながら一生懸命廻って、見つめている私達は胸がつまり、涙が流れた。兵庫県の花でなくともよい。南國の強い太陽に敗けない花を植える事が出来ないものだろうか？のじぎくの塔を立去りながらどうぞ倒れないで何時までも廻っていて

廻る。真白に光るのじぎくの塔の前で琉球娘の花傘のような赤と青の風車は、小さく可憐で、あまり寂しい空間を埋めようとでもするように一生懸命廻っていた。各県が沖縄で戦死した英靈のため、競って慰靈塔を建てたという摩文仁の丘にやつて來た時、南国の空はあくまで青く、各県民の心のこもつた石碑がそれこそ思い思ひのスタイルでならび立つていだ。ここは一大公園に指定されて

塔は、黒いまん丸のみたま石を遺族と県民を表わす一枚の合掌石で抱き、後にはそれを守るように横に長々と白い御影石が横たわっていた。最初はのじぎくが咲きみだれていたらしいのに、南国の気候風土に合わないのかすっかり枯れはてて、白々としたその眺めはモダンな近代造型美を持ちながらあまりにも寂しかった。

摩文仁の丘の頂上近く、第三十二司令官牛島中将が寄せ来る敵を前に立腹切つたといわれる黎明の塔のあたりに商店が出ていると聞いて行つて見たが、小さなハイビスカスの花束がチョコンとあるだけ気に入るようなものは何もない。

フトその横にバケツの中でクリクリ廻っている風車を見つけ、○女史と私は「これにしよう！」と叫んだ。

白く大きいのじぎくの塔に対しほんの豆つぶほどの風車なのに、地下の英靈をなぐさめようとも同じように、クルクル、クルクルと今にも倒れそうになりながら一生懸命廻って、見つめている私達は胸がつまり、涙が流れた。兵庫県の花でなくともよい。南

ておくれと風車に祈らずにはいら
れなかつた。

成駒屋

勝ちやんの 思い出

西脇 親

△神戸土地建物KK取締役社長▽



成駒屋の勝ちやんがなくなつて
はや一ヵ月になる。暑かつたあの
別式も無事すんで今は秋風が肌
に快く感じる。月日の経つのは早
いものである。勝ちやんは誰から
も親しまれ可愛がられた。大きな
丸い眼をくりくりさせながら早口
で語る彼の笑顔が今でも目の前に
浮かんでくる。彼はやさしい心の
持ち主で、よく年下の人の面倒を
つぱつと語る世間話に乗せられて
つい盃を重ね、御気嫌で帰つて行
く。お客様がやんごとの高貴の

お方でも表面は神妙に振舞つてい
るが、実は憶するところなく茶目
つき豊かな言葉に、かえつて氣受
がよかつた。



在りし日の浜野勝次郎氏<右から2番目>

彼のグループと私は時々ゴルフ
に行つたがこんな楽しい面白いゴ
ルフはまたとない。彼はスタート
前に自分のキャディと懇ろにな
り、ラフに打ち込んだボールは適
当に処理するように話はつけてあ
る。勝ちやんの相手の一人がボー
ルをラフに打ち込むと、彼はご苦
労にもラフへ入つて行く。これは
彼の相手が自分と同じようにその
キャディと懇意を通じているかど
うかを確かめに行くのである。こ
んなルール違反をお互いに繰り返
しつつ、馬鹿話を言い合い罵り合
う珍プレーに、キャディ達も笑い
ころげていた。キャディさんは面
白くて収入の多い彼のグループと
廻りたいのは当然である。メンバ
ーでもない彼がどこのゴルフ場で
もメンバー以上に人気のあつたの
も愉快である。

勝ちやんは酒の方も強かつた。

陽気で金離れのよい彼の酒席には

いつも華かさが漂い、賑かなよい

この苦勞話をまるで他人事のよ

うに面白おかしく説明する勝ちや
んの話術に魅せられて、一同囁然

として聞き入るばかりだった。

とんだ魚釣である。それでも意

外と鯖がたくさん釣れたり、キッ

スマーケの話が余興に入つて楽し

い一日であった。明石で獲物を分

配して散会したが、どうやら鯖の

数匹が彼女の家へ届けられた模様

であった。

終りに愛妻和子夫人に亡夫勝
ちゃんのこと、余りはつきりと書
てしまつた事をお詫びして、勝
ちゃんの御冥福を祈る。